

— 成人向け —

**R18**

ADULT ONLY

18歳未満  
購入・閲覧禁止

# 大正癡情で女の 縁結び

野ぜり/ZERI

**転載禁止**

DO NOT REPOST  
禁止转载

夜が来るのが  
怖くなった

あの目から

毎晩

決まった時刻  
になると

『発情』して

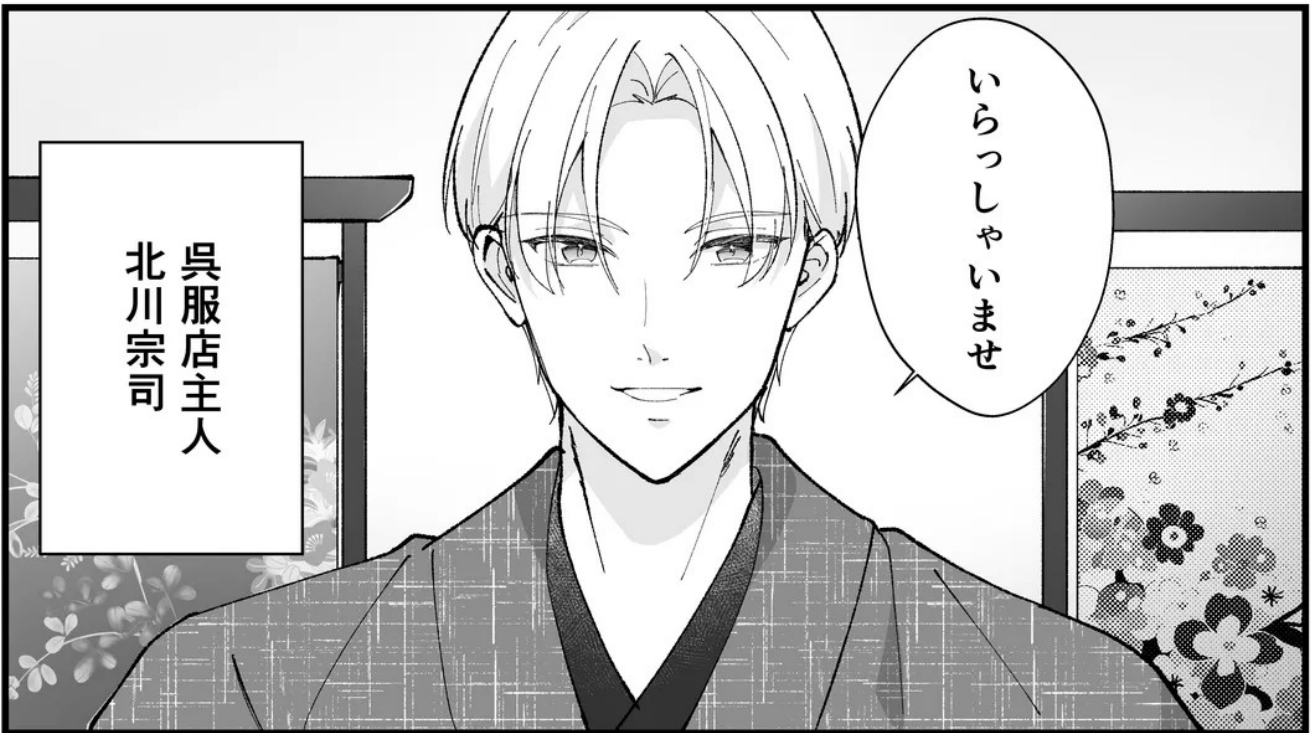
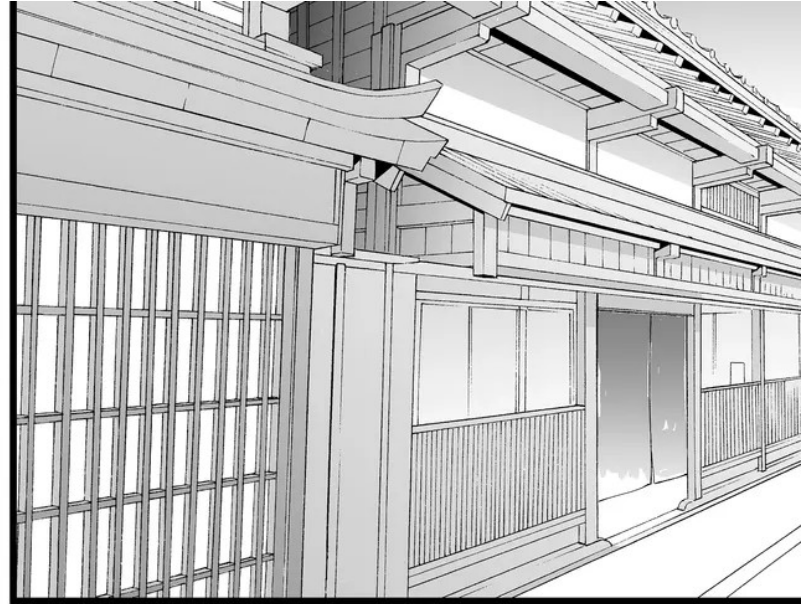
しまうから――

私は

くちゅ

くちゅ

くちゅ  
くちゅ  
あ





はい

かしまり  
ました

宗司の妹  
沙耶



はい

棚の一番上  
にある反物を  
お持ちして



あら  
素敵ねえ

入荷した  
ばかりの品物  
なのですが

こちらは  
先日



着物より  
兄さんに  
夢中…?



さすが兄さん  
お客様の好みを  
よく把握してる

母が再婚して  
家族になった  
私たちは

血の  
つながらない  
兄妹だ

体を壊し  
引退した父の  
後を継いだ兄は

周りからの人望も  
熱く勉強熱心で  
お店も順調に  
業績を伸ばしている

尊敬する兄と  
共に働けることが  
とても幸せだ

あのことさえ  
なければ――

ふふ...

沙耶





言える  
わけない

発情して  
眠れないせい  
だなんて――

今日も発情  
するのかな…

沙耶

はあ…

今いいか？

話したいことが  
あるんだが

っはい

どうぞ





個人的なことに  
立ち入るような  
真似をして  
すまない

嘘……  
見られてたなんて



かあ



もし何か  
困り事や悩みを  
抱えているのなら

力に  
なりたいたんだ



だがお前が  
あまりにも  
辛そうで

ただごとでは  
ないように  
感じたから



友人の倫子さんの  
子宝祈願の  
付き添いで

神社にお参りに  
行ったんです



.....

...少し前に



沙耶

げん

その日の夜

...耶



元気な子を  
授かるよう  
2人でお祈りを  
しました



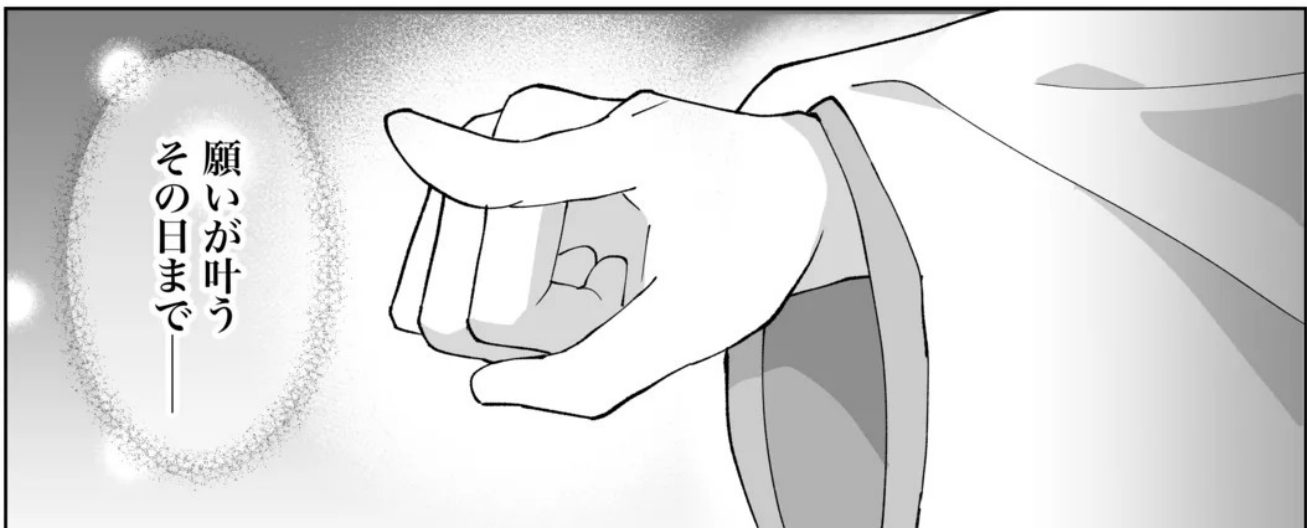
これは夢—？

だれ…？



お前の  
健気な想いに  
打たれて

ひとつ呪いを  
かけてやる  
ことにした



願いが叶う  
その日まで—



次の日の夜

ほっ

はっ

不思議な夢を見た  
そう思っていたのに



毎晩お前は

発情し続ける  
だろう



あれは夢じゃ  
なかったの？

今まで  
感じたことの  
無いような情欲に  
襲われました



午後九時を  
回った頃

突然体が  
熱くなって

苦しい…  
これが発情？

苦しきから  
逃れたくて

は、必死に自分を  
慰めました

は、

くちゅ...

快楽を得て

少し楽になる  
心地がしても

は

は

やめるとまた  
苦しくなって

余計に飢えた  
感覚に襲われて

夜更け過ぎに  
発情がおさまるまで

慰め続けるしか  
ありませんでした

くっ

くっ

くっ  
くっ  
くっ









こんなに  
苦しそうな  
お前を

無理だ

放っておける訳  
ないだろう



沙耶

俺に任せて  
くれないか?



自分でするより  
俺の方が

きつとお前を  
善くしてやれる

でも...



...



沙耶

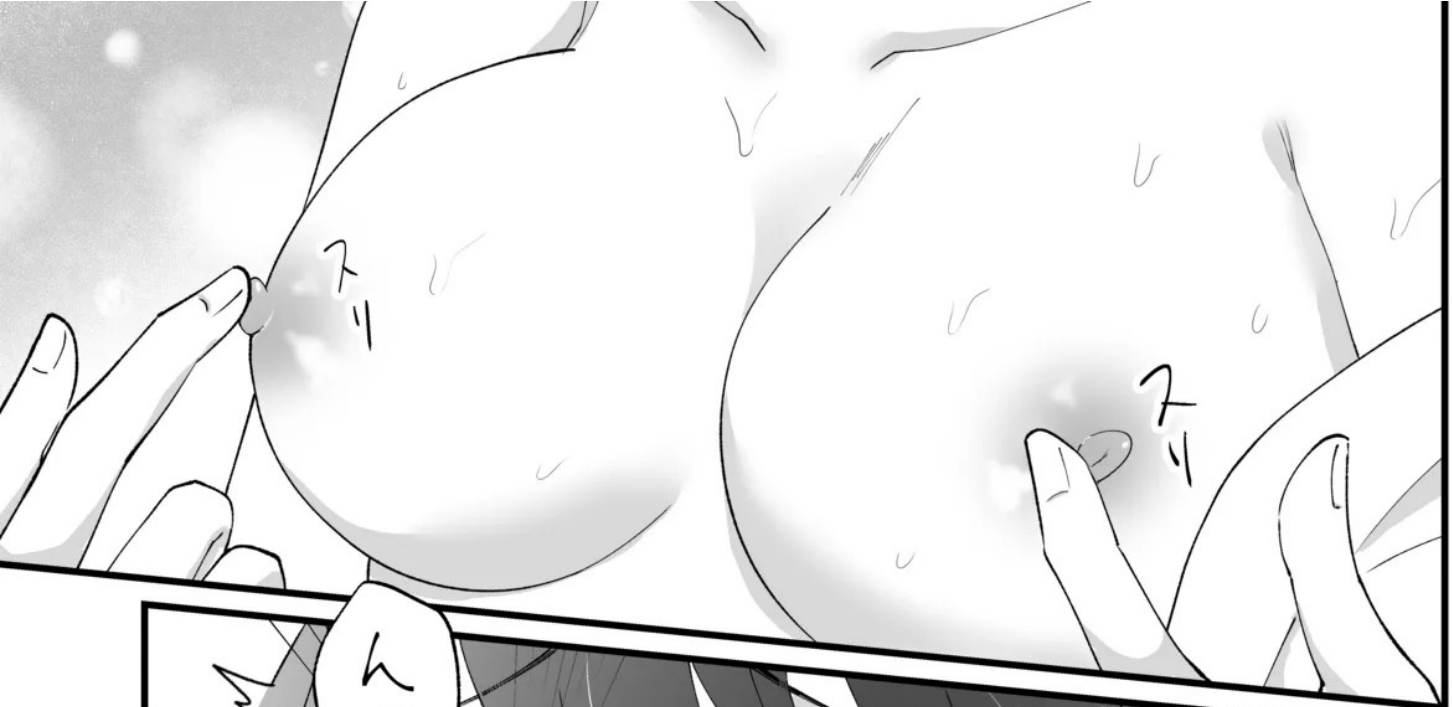
頼む



嫌がることは  
絶対にしないと  
誓う







少しずつ触れる  
ようにするから

ゆっくり  
慣らしてらさう



刺激が  
強いかな？

は…い



あ

可愛い声が出てきたな

甘い声で  
ささやかかれて

上手に快楽を  
受け入れられて  
いるようだ

優しい刺激を  
与えられて

苦しさが  
快楽に  
塗り替えられていく

あ

あ

すい  
すい

お前の声は  
耳に心地よくて

でもやっぱり  
気持ちよく  
なればなるほど

もっと欲しく  
なってしまう

ずっと聴いて  
いたくなる

うず  
うず

うず  
うず



沙耶  
どうした？  
そんなに脚を  
すり合わせて

見せてごらん

あッ

アッ  
アッ



ここまで  
放っておいて  
可哀想なことを  
してしまったな



ああ

こんなに  
滴らせて  
いたのか

あッ

たぬ





どうすれば  
もっとお前を  
善くしてやれるのか

お前を  
喜ばせて  
やれるなら

俺も嬉しい

ギィ  
ヤー  
ヤー

その可愛い  
反応で

教えてほしい

スリ...



あぁ  
周りを撫でて  
もらおうの

気持ちいい  
...けど



スリ...  
たくさん  
触れさせてくれ





兄さん…

お腹に  
じんじん  
するの…

集まってくる  
みたい…っ



沙耶

少し  
強くするぞ

体が変で



怖いの…っ



果てなさい

俺にゆだねて

沙耶  
大丈夫だから





上手に  
果てたな



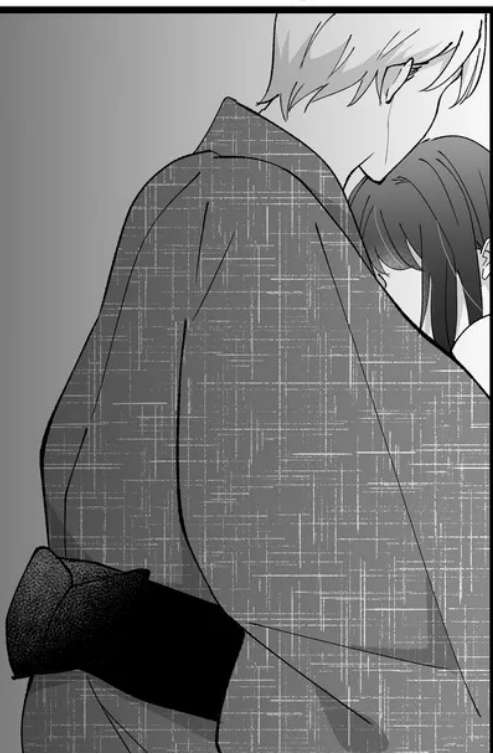
偉かった

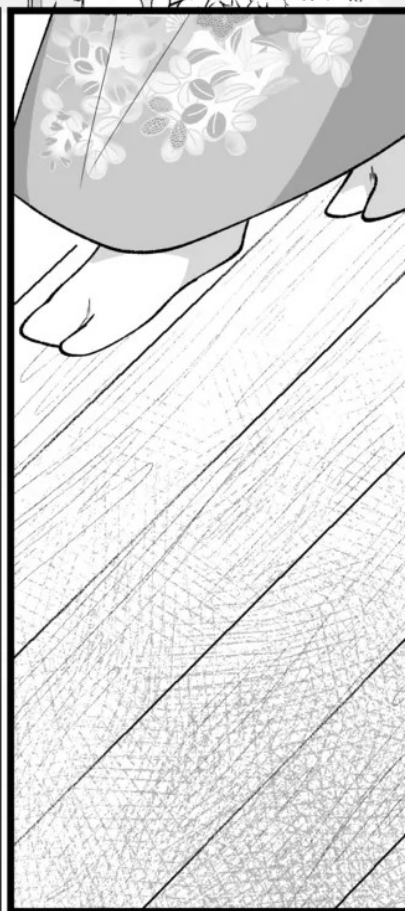
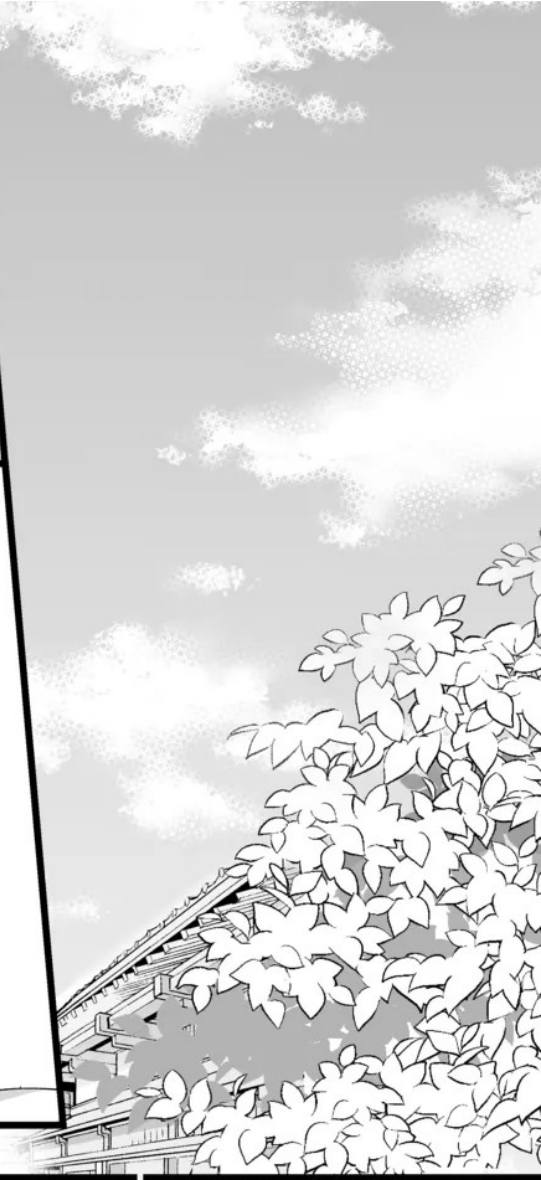


沙耶  
辛かった  
だろう



果てれば  
治まるのか…







おはよう

昨日は  
よく眠れたか？



今日は予定通り  
午後から  
商談だから

準備を頼む

わかりました



あんなことが  
あったのに

兄さん  
いつも通りだ



あ…  
はいっ

それなら  
よかった



兄さんがあの  
綺麗な指で



何だか  
昨夜のことが

夢だったように  
思えてくる



私に  
触れて  
ドキドキ

.....



今は  
仕事に集中!

ぱくぱく



沙耶  
どうかしたか?

アト...

いえっ  
何でも  
ありません







入るよ

はいっ



今日は  
疲れただろう

おいで



そろそろ  
時間だな



お前は  
小さい頃から  
我慢強くて

イェイ

周りに心配を  
かけないように  
振る舞うことが  
多かったが



こんなことに  
なって

一人で耐える  
しかななくて  
辛かったな



俺には  
いくらでも  
甘えて  
いいから

俺のわがまま  
だとしても  
お前を一人で  
苦しませ  
たくない



発情が  
始まれば

はあ、



それから  
毎晩

兄さんは部屋を  
尋ねてくれる  
ようになった

う…

時間になるまで  
安心させるように  
抱きしめて  
くれた後



ゆっくり  
触れていって  
くれる

優しくも優しく

労わるように  
慈しむように



沙耶

今日は  
可愛い声を  
聞かせて  
くれないのか？



初めは兄さんに  
こんなことを  
させるのが  
申し訳なくて

ん

ん

肌を晒すことも  
乱れた姿を  
見せることも

何もかもが  
恥ずかしくて

んん

ん

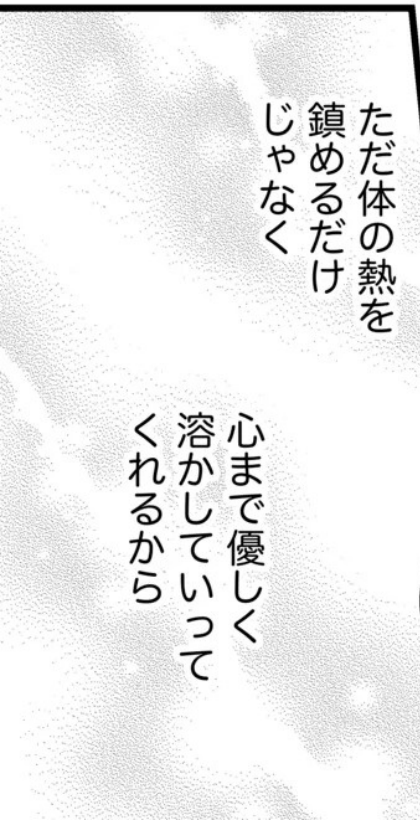


素直に

んん？

甘えられ  
なかつたけど

んん



ただ体の熱を  
鎮めるだけ  
じゃなく

心まで優しく  
溶かしていつて  
くれるから



…あ

あ



俺だけに

聞かせて  
くれるだろう？



にーさん...

きもち  
いい...

日を過ごすごとに  
少しづつ

自分の想いを  
伝えられる  
ようになった



私...呪いが  
かかってから  
ずっと

夜が来るのが  
怖かったんです



沙耶  
甘えてくれて  
いるのか？

嬉しいよ



沙耶



本当に  
いじらしいな  
お前は



でも兄さんが  
甘えていいと  
言ってくれたから

何も怖く  
なくなりました



もっと  
善くして  
やりたい

今日は  
口を使っても  
構わないか？



兄さんに  
吸われてる...



どこに触れても  
お前は

可愛いらしく  
応えて  
くれるから

もっと反応を  
引き出したくて  
つい

いろいろな  
場所を

試してみたく  
なってしまうな

あ♡

かり  
かり



クーン  
だめえ



兄さん  
だめ…っ

あ♡

あ♡



そんな風に  
されたら

すぐに果てて  
しまいます

果てていい

早く楽に  
なりたいたらどう?



そうだ  
兄さんは  
そのために

こうして  
くれている  
だけなんだから

手を煩わせる  
ようなこと  
しちゃ  
いけないのに



私：少しでも長く  
兄さんと過ごして  
いたくて

変な…  
声が出たり

おかしい姿を  
見せてしまうのが  
恥ずかしくて



お前が  
おかしな  
姿を見せても

何も  
損なわれたり  
しないだろう



あ

あ



どんなに  
乱れた  
としても

はしたなく  
喘いで  
いたって



あ

どうして  
そこまで  
言ってく  
れるの？

あ

そんな風に  
心も体も  
甘やかされて  
しまったら



お前は

この世で  
一番綺麗だ

気持ちを

にい……る

抑えられなく  
なる——

抱い……て

っ

…沙耶

なか  
膣内  
が  
疼く  
のか？

もっと  
脚を  
開いて

自分で  
広げて  
見せて  
ごらん

ドキッ



兄さ…ん

くは。

ここは、お前が  
恥じらうほど  
卑猥に動いて

誘っている  
ようにしか  
見えないがな

恥ずかしいです

あぁ

ちゅん

くっ



あ

あ

自らの意思で  
飲み込んでいる  
かのように



あぁ

す

簡単に入って  
いってしまう



ああ  
すごいな

絡めとるように  
吸い付いてきて





我慢  
しなくて  
いい

あ

ああ



ほら  
沙耶

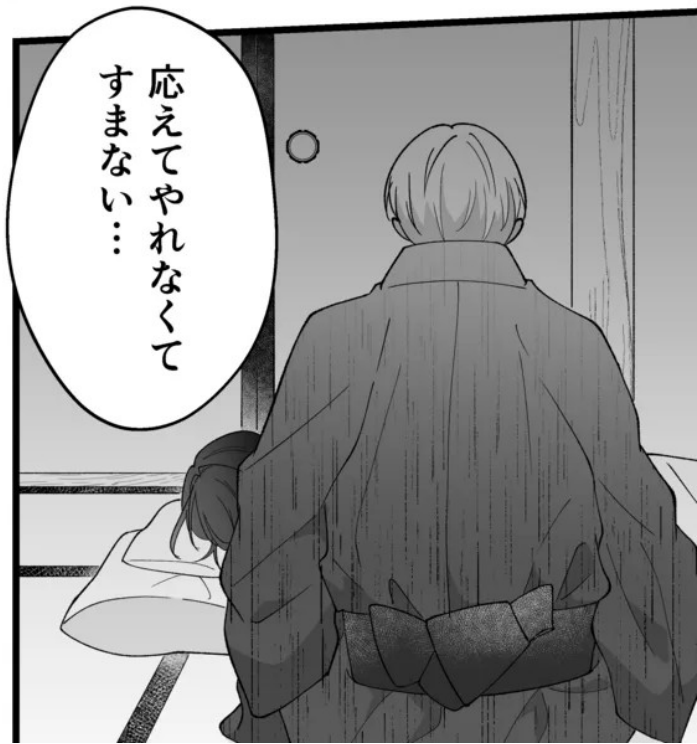
あ

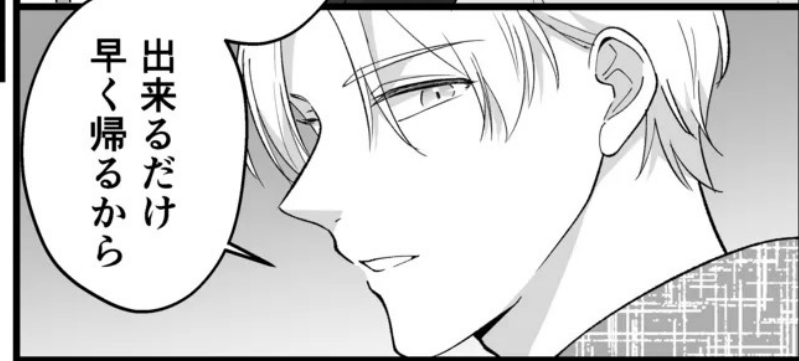


なか  
なか  
から  
果  
て  
る  
と  
こ  
ろ  
を

俺  
に  
見  
せ  
て  
く  
れ











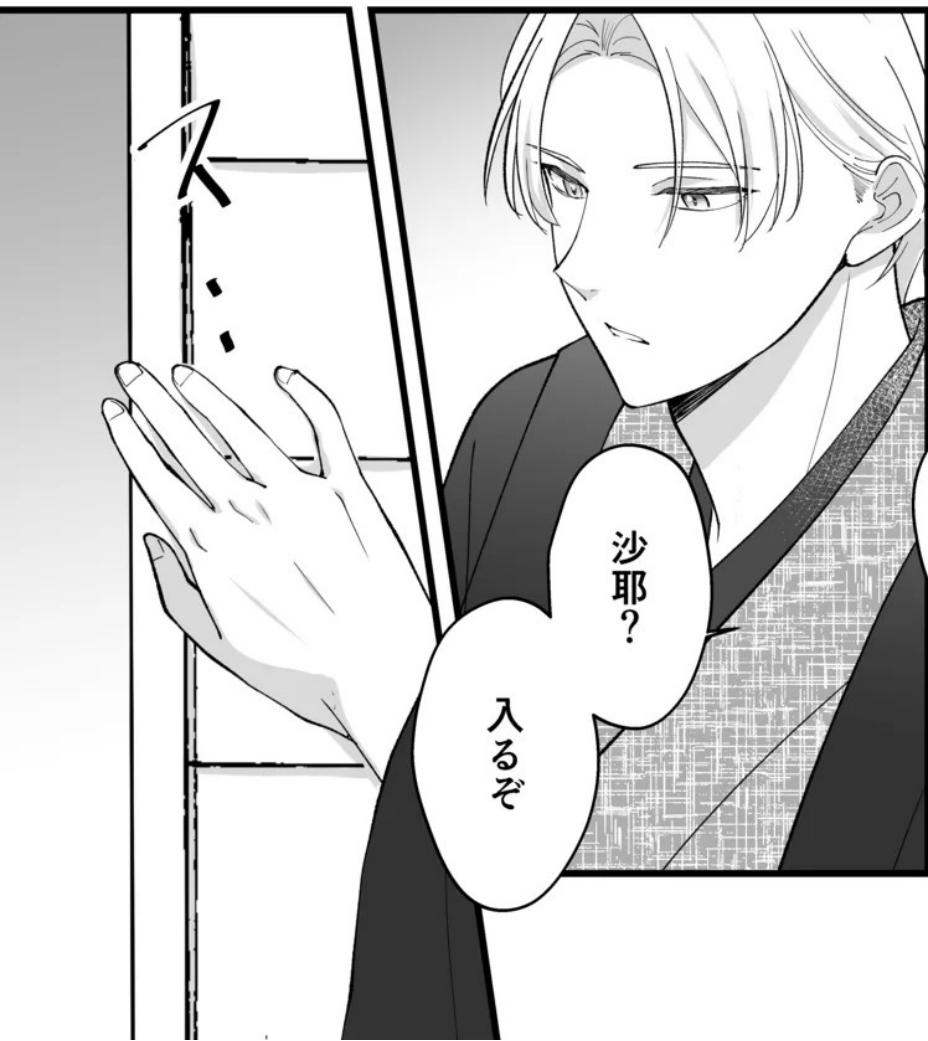
兄さんの優しさに  
甘えすぎて

超えては  
いけない線を  
踏み越えて  
しまったんだ



兄さん：  
私のこと  
嫌になったの？

勘違いしちゃ  
いけないって  
分かってた  
はずなのに



沙耶？

入るぞ



沙耶  
遅くなって  
すまない

.....



沙耶…?



私ひとり  
できません

あ

あ

もう  
兄さんに迷惑  
かけません



苦しい

兄さんと同じように  
やっているのに

どうして果てられ  
ないんだろう

だから――





この世の  
誰よりも

兄さんが  
好きです



わたしを  
お嫁に…

行かせないで  
ください…っ



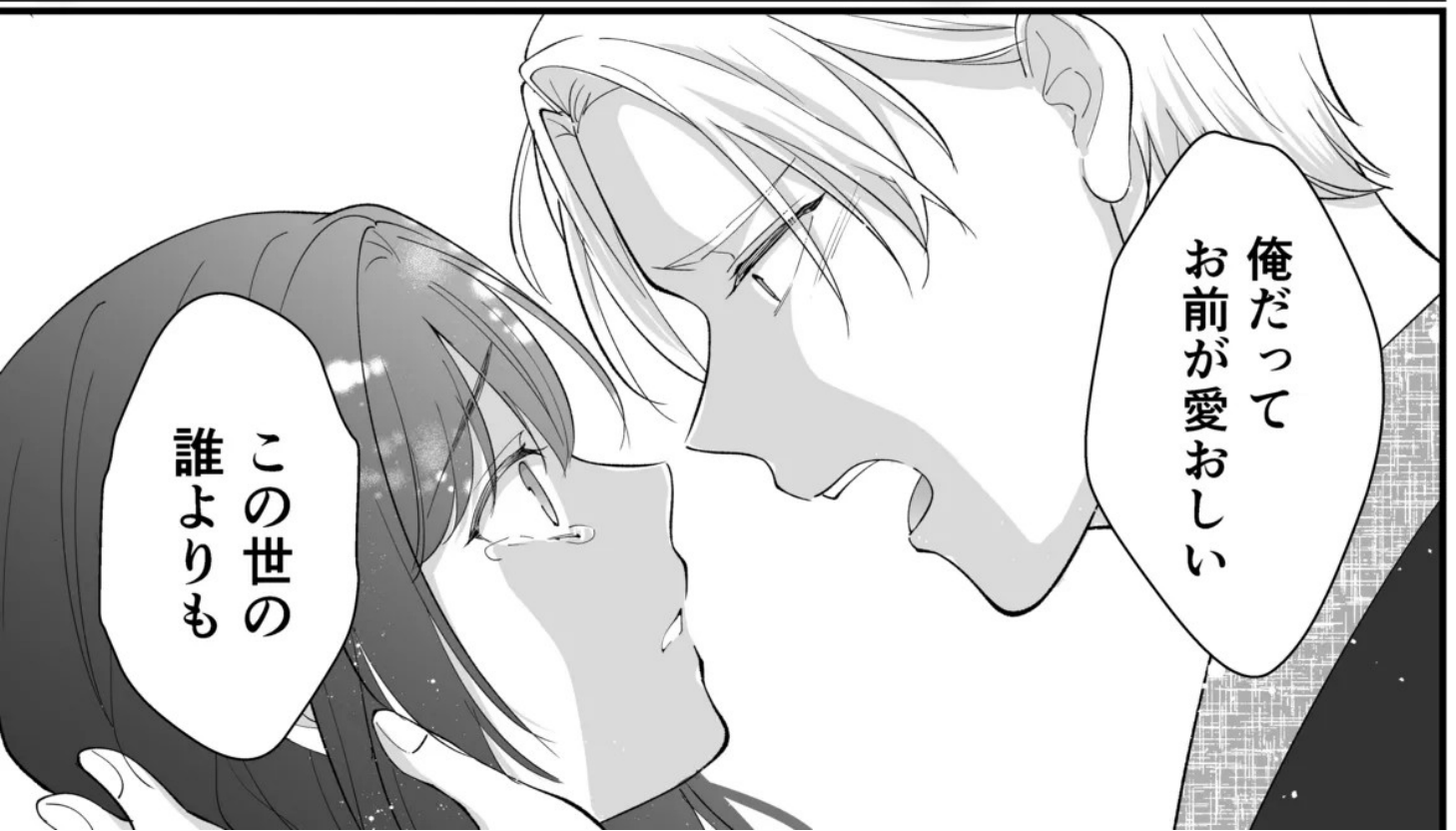
だから  
お願い



もうわがままは  
言いません

二度と  
困らせたり  
しません

もっと役に  
立てるように  
なります





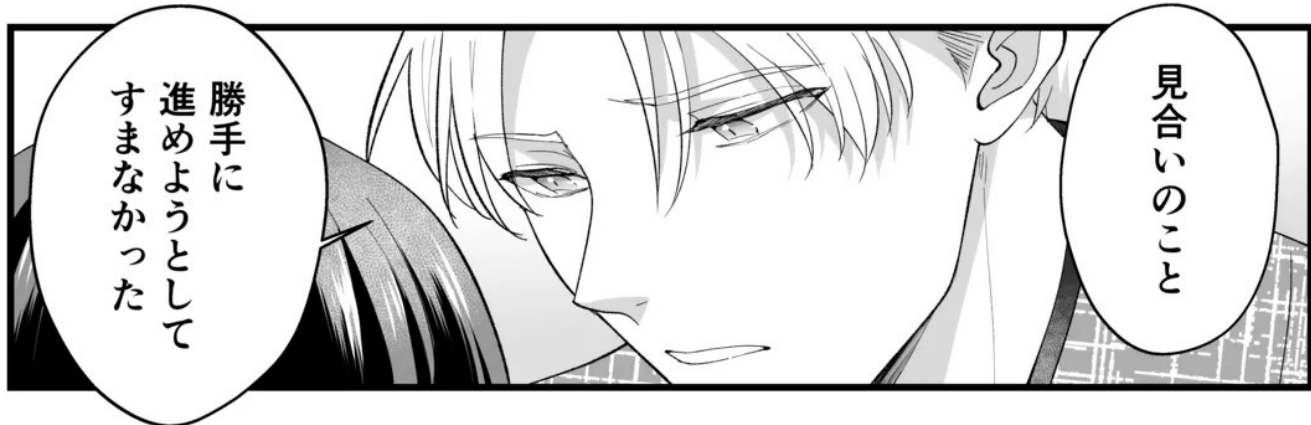




兄…さん

沙耶

目が覚めたか



勝手に  
進めようとして  
すまなかった

見合いのこと



俺には—



どう…して



想いに応えて  
やれないのに  
いつまでもお前を

そばに置いて  
おけないと  
思ったから







少女から大人へと  
変容していく体を  
無防備に横たわらせた

お前のその姿が  
あまりにも艶かしくて

ずる...

ズキッ

ドクミン

カキカキ

ズキッ

ドクミン...

ドクミン



しゅ

しゅ

ぐちゃ

ぐちゃ

ドクミン



突き上げてくる  
情欲を  
抑えきれずに

あ

あ

しゅ

あ

あ

しゅ



あ



その後も――

兄さん

教えて欲しい  
ところがある  
んです



自分が停おそましかつた――

しっ  
っ  
っ



体が叫ぶ

お前が女で  
あることを意識  
しまつてからは

どんなに押さえ  
込もうとしても  
湧いてくる

ああ  
見せてごらん

制御し難い  
欲望

お前が  
「欲しい」と

ズクン……



物心つく前に  
母を亡くし

多忙な父との  
暮らしの中で

抱えていた  
孤独を



癒してくれた  
かけがえのない妹



沙耶  
どうした？

誰がお前を  
泣かせて—



何よりも  
大切にし

守るべき存在  
であるお前を



やめて

ごきげん

こんな浅ましい  
欲望をぶつけて

おねがい

穢してしまう  
ようなことは

いたいよお



絶対に

あつては  
ならない

はあ

はっ

はあ

やあ



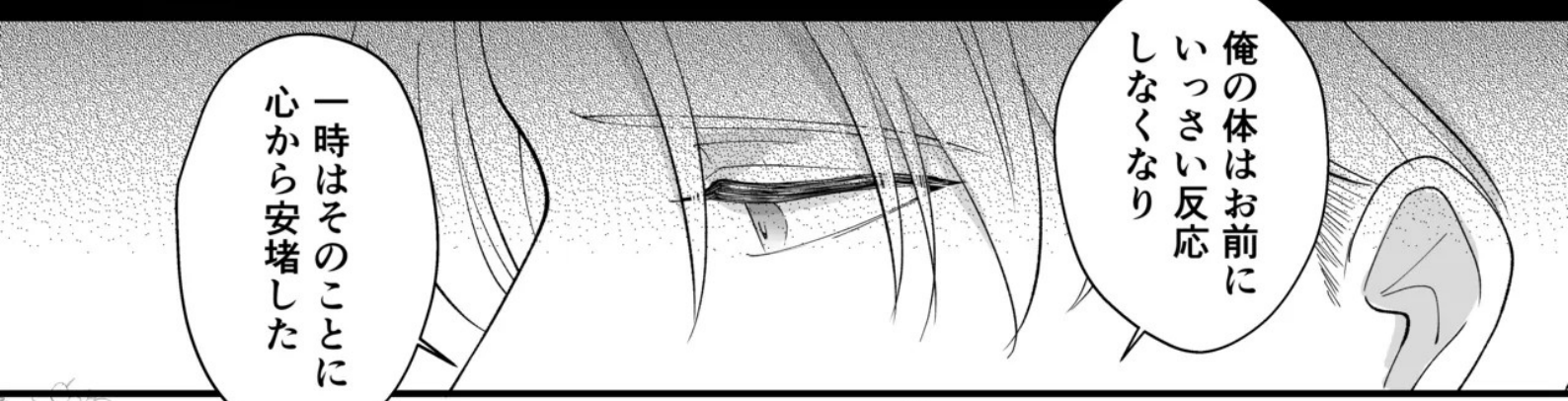
もう妹に  
劣情を抱くことの  
ないように――

まさか  
本当に願いが

聞き入れ  
られるとは  
思わなかったが



すぎるような  
想いで願った



俺の体はお前に  
いっさい反応  
しなくなり

一時はそのことに  
心から安堵した



だがそれは  
救いではなく

卑俗な  
行いをした  
ことへの

罰だったのかも  
しれなかった



またお前を  
妹として  
想えると



兄さん！

お前との  
時間を重ねれば  
重ねるほど

兄さん

愛しきは  
募るばかりで

兄さん



ずっと求めて  
いたお前に

やっと  
触れることが  
できたのに

俺の体は  
どうしても  
お前に

反応しない  
勃たない

知られたく  
なかった

お前を  
抱けないこと

それを招いた  
俺の愚かさも

いつまでも  
こんな関係を  
続けられないと

分かって  
いても

お前に  
触れられる  
ことが嬉しくて

少しでも長く  
側に置きたいと  
欲をかいた

お前を抱けず  
呪いを  
解くことも  
できないのに

俺の  
身勝手さで  
お前を  
傷つけたこと

謝っても…  
謝りきれない



兄さん  
私は

幸せでした

発情の苦しさを  
終わらなくても  
いいと思うほど

兄さんと  
過ごす時間が

兄さんが  
与えてくれる  
すべてが

たまらなく  
嬉しくて…



……  
……  
私も

謝らないと  
いけないことが  
あります



沙耶……



お参りに  
行ったあの日  
本当は


自分のための  
願い事として  
いたんです



嘘……？



嘘を  
吐いたこと




ずっと兄さんに  
女として見て  
もらいたかった

だから

兄さんに  
女として  
愛されて

身も心も  
結ばれたい



——それが私の  
本当の願いです

兄さん以外に  
この呪いを

誰も  
解くことは  
できません



そんな…



兄さんと私の  
距離を

近づけて  
くれたから



本来なら  
縮まらなかった  
かもしれない



でもこれは  
幸せな呪いです



私を側に  
いさせて  
ください！



私を  
想ってくれて  
いるのなら

兄さん  
お願いです

心変わり  
するまでも  
構いません

繋がれなくても  
私にできる  
全てで

兄さんを幸せに  
します…から

かみ

はあ、

…沙耶

俺を  
諦めないで  
くれて

…ありがとう



お前が俺でいいと  
言ってくれるなら

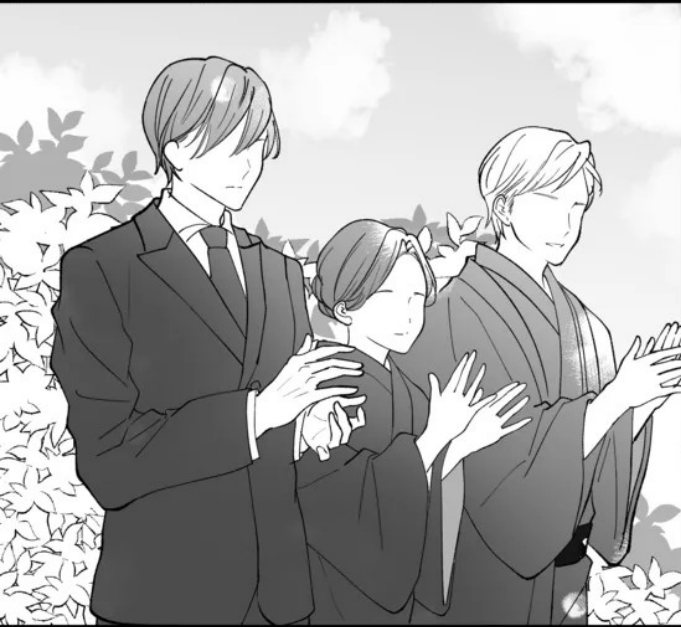
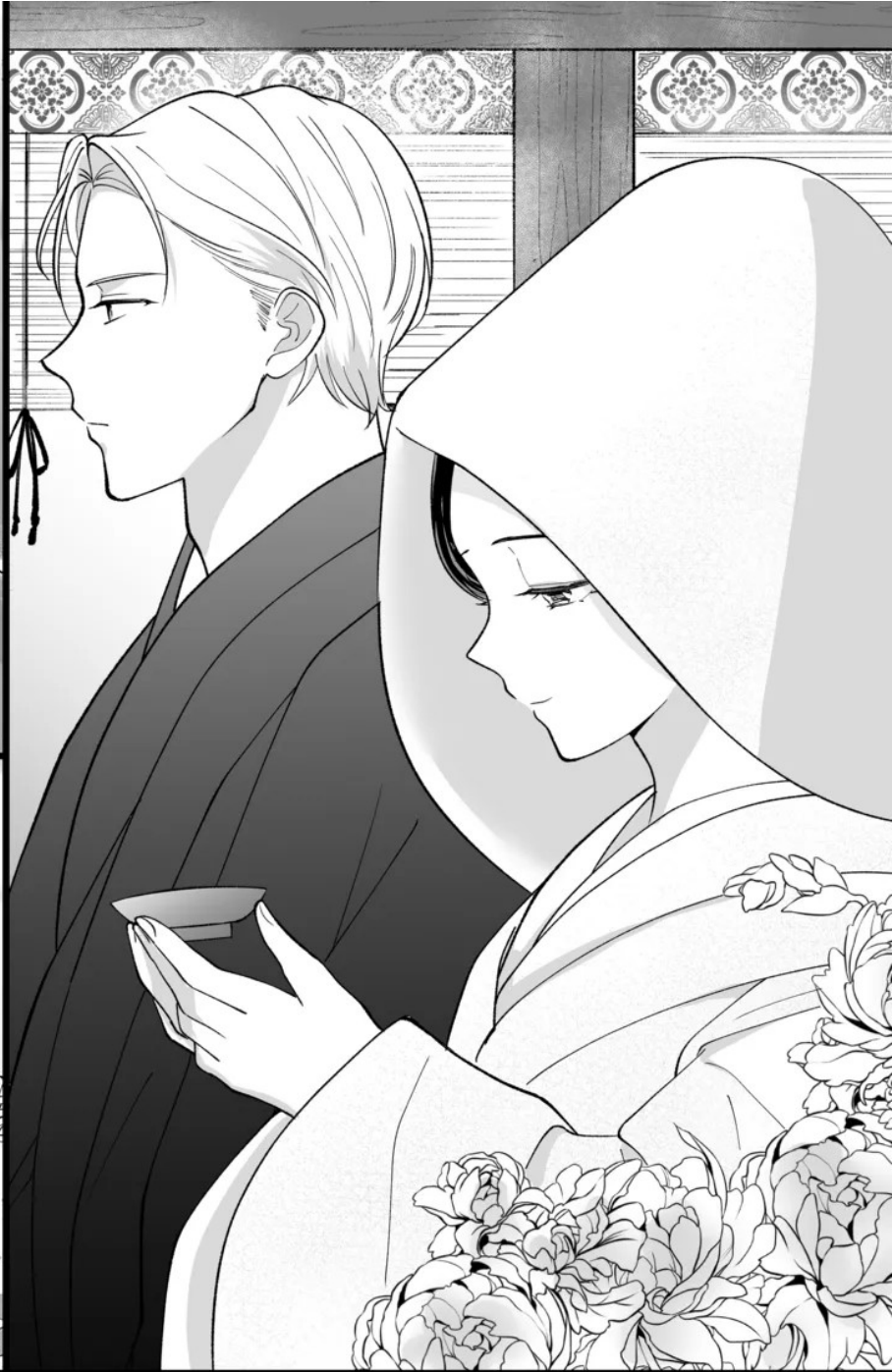
もう絶対に  
手放さない



この先  
どんな困難が  
待ち受けて  
いたとしても

…兄さん

生涯をお前と  
共にありたい





おいで

ああ



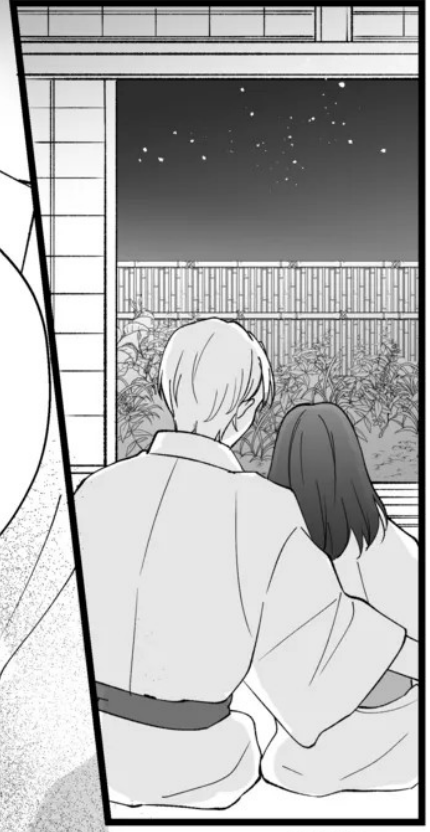
お風呂  
いただき  
ました



すごく  
綺麗だった

ちゅ

お前の花嫁姿



もう兄さんじゃ  
ないだろう

沙耶  
いつまで  
その呼び方を  
するつもりだ？



兄さんも  
すごく  
素敵で

ありがとう  
ございます



ああ

末永くよろしく

ス  
ク...



宗司...さん

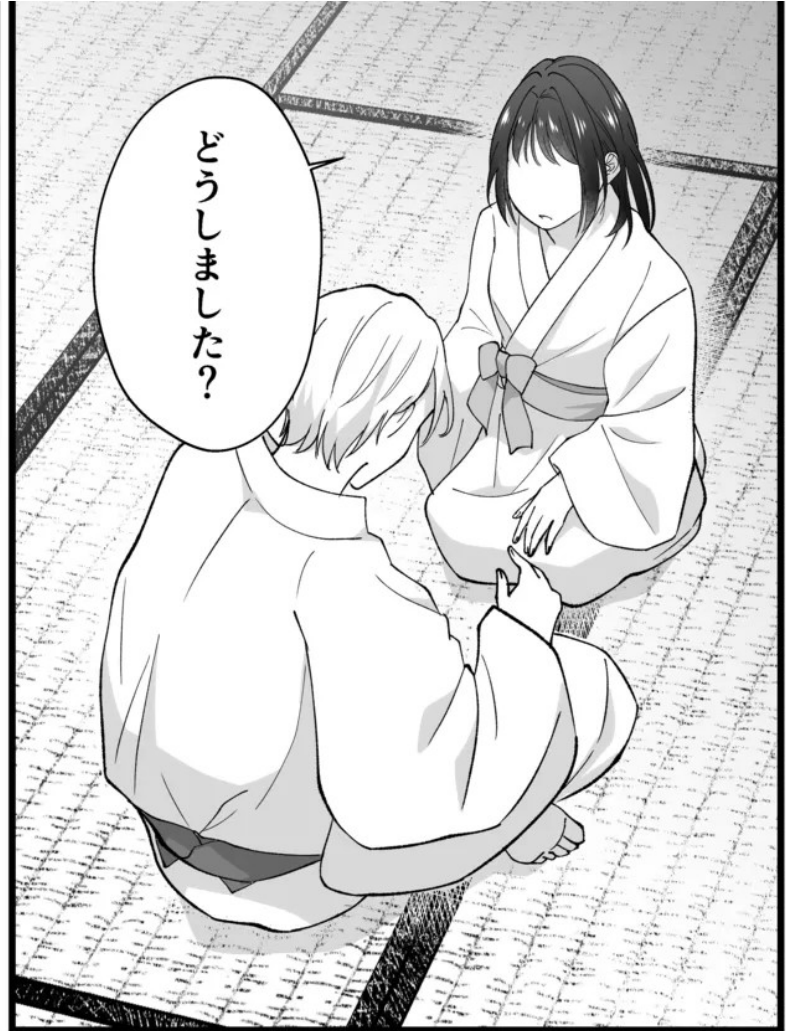


...



俺の奥さん

ス  
ク...





祝言を  
あげた事と  
何か関係が  
あるのか…？



どうして  
急に…

今日の

この日に



宗司さん  
もしかして



私が妹じゃ  
なくなつたから？

宗司さんの  
願いは確か

妹に  
劣情を向ける事の  
ないように





お前を...

お前を...

抱ける

ソレキッ



宗司を...





沙耶っ…

沙耶

あ、

沙耶…



あ、



あ、











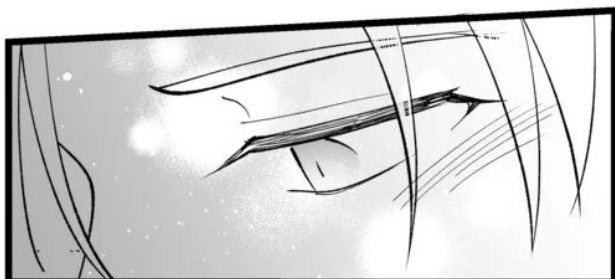
何も  
知らなかった  
時の

憧れの気持ち  
じゃなくて

宗司さん…

私を…  
抱いて

今まで  
どれだけ  
与えて  
もらって  
きただろう



ああ  
幸せにする

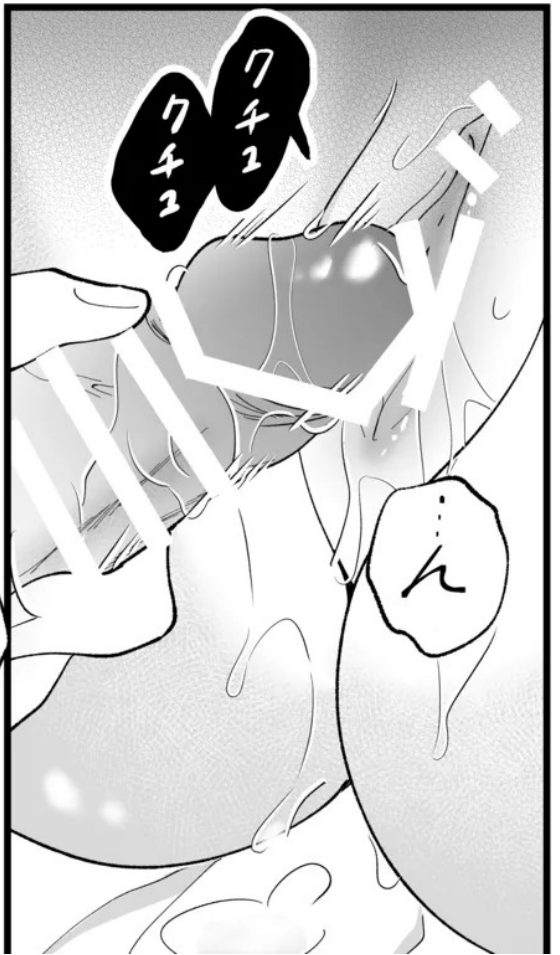
この先も  
ずっと

今  
心の底から

あなたに抱いて  
もらいたい

この世で  
一番

幸せな花嫁に  
してください







少し  
揺らすぞ

はッ

はッ

宗司さんが  
私の腔内で

熱く...  
脈打っている

ドクドク



ん

ん

ん

ん

お腹の奥まで  
いっぱいまで  
苦しい...のに



口を塞ぐな

あ



ふうッ

それが  
嬉しいなんて

ん

ん



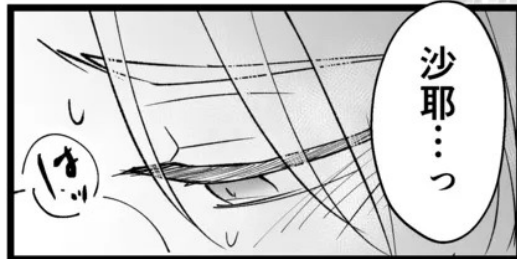
ゆらゆらと  
揺さぶられて  
いるだけなのに

繋がっている  
ところから

全身に快楽が  
広がって

グサッ

浅いことを  
なぶられるのが  
気に入ったか？



沙耶...っ



もっと深く  
お前を  
感じたい



はしたない声を  
抑えられない...っ

んあッ

あッ

んあッ





利きそうに  
ないから

もう自制が



ほた

え



私…

あ

あなたで  
いっぱい  
になりたいです



大丈夫です

もう  
怖がったり  
しません





あゝ

あゝ

今までは

甘やかして  
もらう  
ばかりだった

あゝ

あゝ

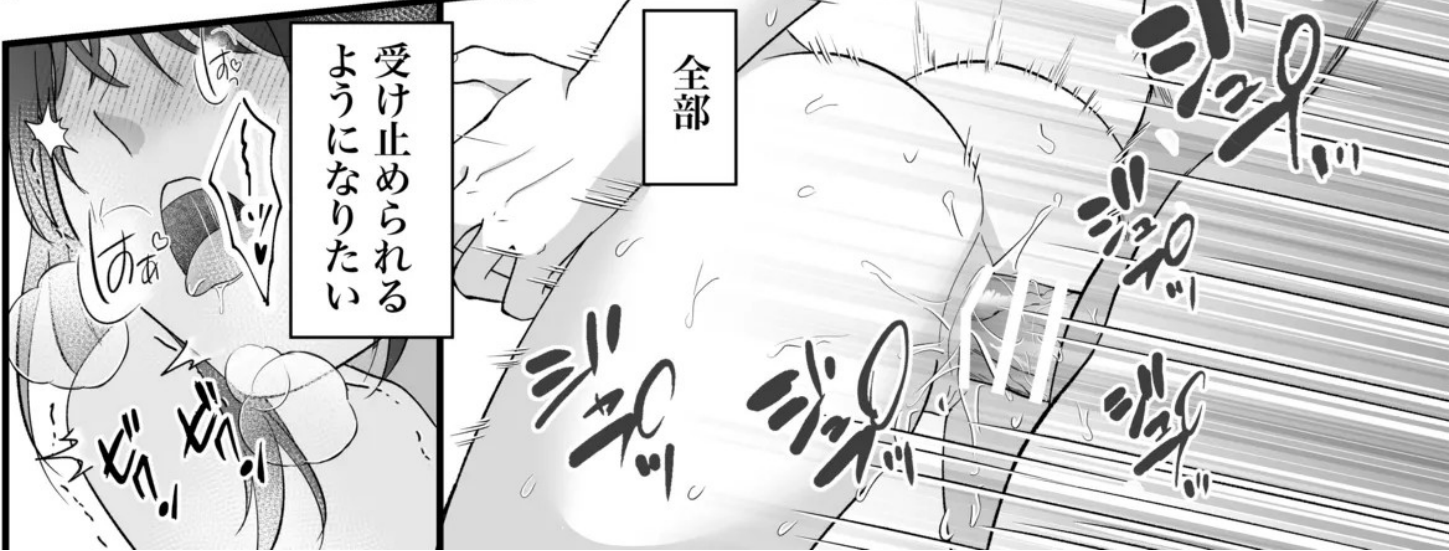
あゝ



激しさを

弱さだって

でも  
これからは  
あなたの



受け止められる  
ようになりたい

全部

あゝ



愛しい

ただあなたが  
愛しい



ゴクッ

あ

あ



あ

ゴクッ

あ



あ

あ

あ

あ

あ

あ





きもち  
よすぎて

もうなにも

わからなく  
なりそうです



沙耶  
どうした？



最後まで

俺の  
ことだけ  
感じて  
いてくれ

グ  
イ



ああ  
構わ  
ない

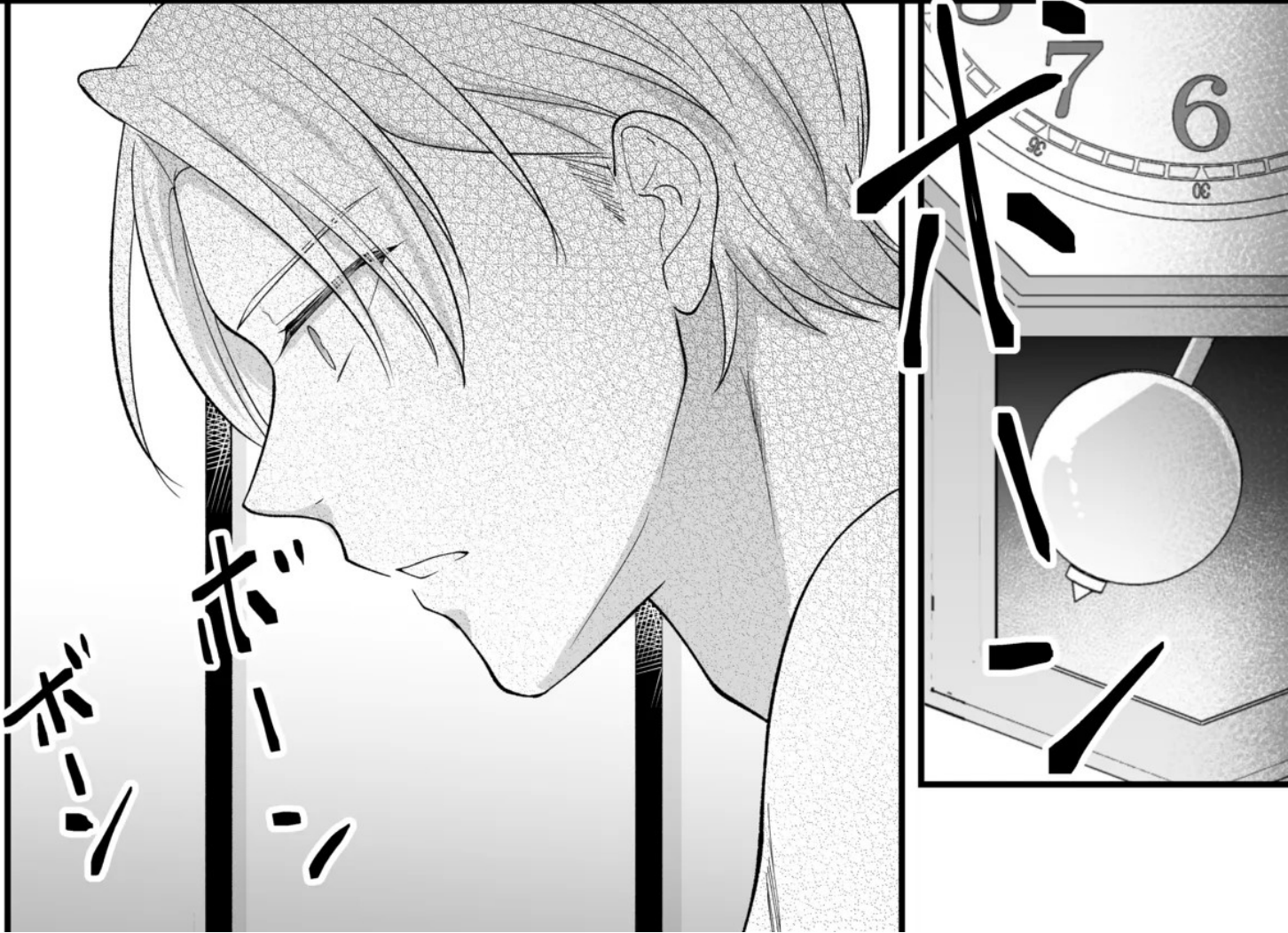
すべて  
引き  
受ける  
から







沙耶...



カッ  
カッ



沙耶

呪いが  
解けたよ



お前の願いを

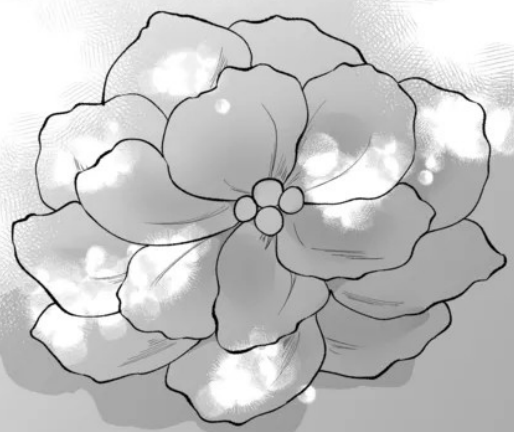
叶えて  
やることが  
出来たんだな



お前と  
結ばれた  
幸せを

生涯  
守り抜く

この身を  
賭して



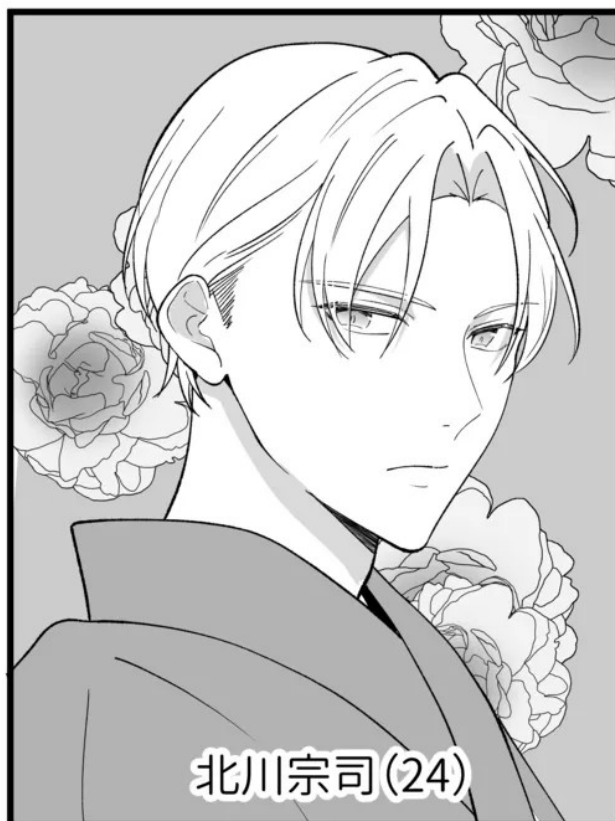


◁次項◁人物紹介とあとがき



兄を尊敬し、慕う。  
母子家庭育ちで子供の頃は  
男性が苦手だったが  
宗司に守られて過ごすうちに  
克服されていった。  
穏やかで控えめな性格だが  
宗司のことだけは絶対に  
諦めないマンで、宗司の優しさ  
につけ込んででも側を離れない  
と思う強かさも持っている。  
2人の出会いは、困っている  
沙耶を宗司が助けたこと。  
それがきっかけで父母が  
再婚することになった。

好きな人が好きで好きで  
たまらないヒロインが好きで  
ついつい描いてしまいます…。



冷静で落ち着いて見えるが  
子供の頃は人を寄せ付けない  
気難しい性格だった。  
努力家で人望も厚いが、それは  
沙耶に出会い癒されたことにより  
彼女にとって良い兄であるために  
身につけた処世術によるもの。  
激情家な一面もあるが普段は  
鋼の自制心で押さえ込んでいる。  
EDなのは妹にだけで  
沙耶への思いを断ち切るため  
他の女性と関係を持ったことも  
あったが、忘れることはできな  
かった。  
しっかりと自分を持っているよう  
でいて、妹を中心に世界をまわす  
のが心地良い隠れ溺愛お兄ちゃん。

宗司の呪いが解けたくだりを  
さらっと描いてしまったので  
描く予定にしている追加データの  
エピローグ内でその辺をもう少し  
掘り下げたいと思います。



沙耶の見合い相手



神さま??

沙耶の母が再婚前に働いていた旅館の跡取り息子で宗司の従兄弟沙耶とは幼馴染で、子供の頃から想いを寄せているが、好きな子には素直になれないタイプで優しくできず、いじめてしまう。父親から沙耶との見合いを提案された時は気のない素振りをしつつ内心狂喜乱舞した。沙耶を一途に想う彼なら、事情(発情)を知っても受け入れ大切にしてくれると宗司は考え沙耶を託そうとした。

恋敵役として本編に出演予定でしたがページ数がとんでもないことになりそうで断念しました…。名前すら出てきませんでした。実は本項に1コマだけ登場していますので2周目で探してみてください。大正シリーズが続けば、彼がメインのお話も配信されるかも…？

沙耶にえっちな呪いをかけた謎の人物。呪いをかけるためだけに出てきた??となりつつも過去に沙耶と繋がりがあり呪いをかけたのには彼なりの思惑があるようで…。

エピローグ(追加データ)でその辺も少し描きたいなと思います。そして大正シリーズ次回作のメインキャストでもあります。2024年春配信予定なので興味を持って下さった方は楽しみにしててください…！

「大正発情乙女の縁結び」をご覧いただき誠にありがとうございます。  
無事に2作目を描き上げることができました…！  
完成までにたくさんの方にお力をお借りしました。  
関わってくださった方々、応援してくださった方々、  
そして手に取ってくださった皆さまに心から感謝いたします。  
このお話が愛される作品になることを願って。  
また次回作でお会いできますように。



サークル/ZERI  
著者/野ぜり  
発行/2023年8月10日  
Twitter/ <https://twitter.com/nozeriye>

この漫画の著作権は《ZERI/野ぜり》にあります。  
この漫画を《ZERI/野ぜり》に許可なくインターネット上に  
アップロードする行為は犯罪です。(著作権法23条)10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、  
またはその両方が同時に科せられます。(著作権法第119条第1項)

Reproduction is prohibited  
禁止私自轉載、加工